SUNNYSIDE 2024

～ 事業報告書 ～

社会福祉法人　友朋会

Ⅰ，理念と運営方針の実践

経営理念

健やかでその人らしい生活の創造

運営方針

①コンプライアンス（法令遵守）の徹底

②人権の尊重

③家族・社会との連携

④地域移行の推進

サニーサイド憲章

“サニーサイド憲章”はサニーサイドの基本的な信念です。私たちはこれを理解し、自分のものとして受け止めて支援に臨みます。

1、私たちは、利用者の安全を第一に考え、事故のない施設を作ります。

2、私たちは、利用者が快適に過ごせるよういつも気を配ります。

3、私たちは、福祉の専門職として知識と技術を磨き、サービスの質の向上に努めます。

4、私たちは、基本的な人間の品位をもってサービスの提供を行います。

5、私たちは、常に清潔で、TPOにあった身だしなみを心がけます。

6、私たちは、言葉遣いや態度・マナーに気を付け、いつも笑顔で接します。

7、私たちは、職場ではもちろん、職場外でも福祉を担うものとしての誇りと自覚を持って行動します。

8、私たちは、施設内で何か問題がないか、いつもすみずみまで注意を払います。

9、私たちは、整理・整頓・清潔・清掃を徹底し、施設内をいつも綺麗に保ちます。

１０、私たちは、エネルギーの節約や環境保全に努め、施設の資産を守ります。

１１、私たちは、地域の一員として、地域福祉の向上に貢献します。

Ⅱ，法人概況

2024年度の友朋会全体の運営状況としては、おおむね順調であったと思います。

4月には大幅な報酬改定がありましたが、改定に合わせた人員配置の見直しや新規加算の取得に柔軟に対応できています。また、課題であった利用者の確保（各事業計８名（重複含む））、利用率改善（前年比　施設入所100%、生活介護102.8%、就労B111.4%、GH106.7%）も追い風となり、事業収益は初の4億円（前年比111.2%）を超えています。これは、特別支援学校や児童支援施設と定期的に説明会や見学会を行ったことにより、利用者本人、その家族、教師や児童施設職員が、サニーサイドの特長やできることを知る接点を増やせたことに一因があると考えており、次年度も引き続き関係性を深めていく予定です。

サニーサイドの強みであるアールブリュット事業では、公募展で2点が入選するとともに大阪万博での展示も決定しました。5年ぶりに開催したサニーサイド秋まつりでは、熊本のレジェンド「チャーリー永谷氏」の出演も相まって850名を超える来場者により大変な賑わいを見せ、地域の方からも喜びの声が聞かれました。これらの活動は、地域社会と利用者、サニーサイドを繋ぐ地域共生社会の実現に向けた重要な活動として、これからも継続していければと思います。

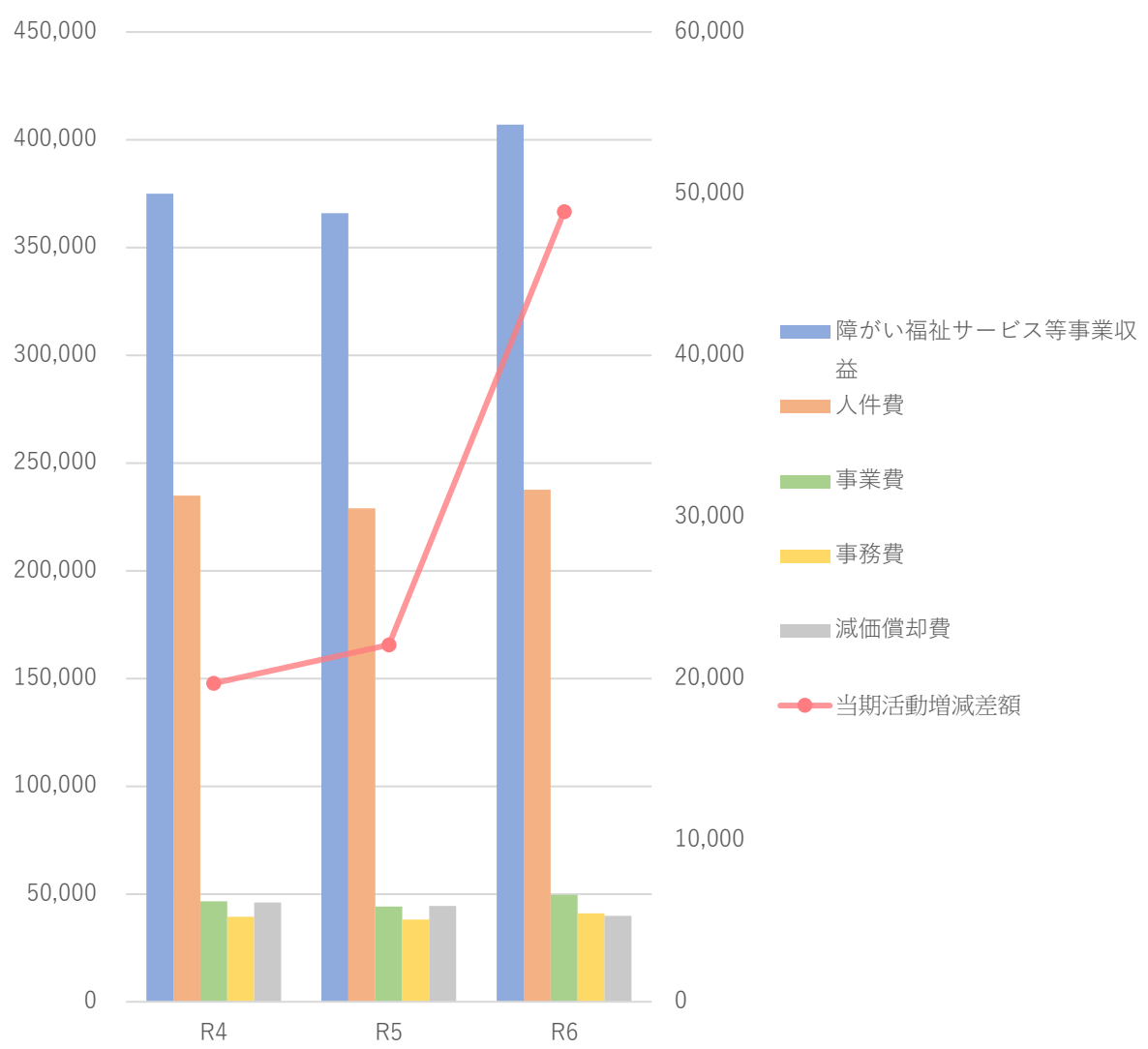
障がい福祉全体の課題となっている「親亡きあと」や「施設での看取り」など入所施設のあり方や役割は変化を見せています。一方で、障がい者の「意思決定支援」は国連の権利条約批准において避けて通ることはできません。サニーサイドでも利用者自身の意思決定において、「誰とどこで暮らすか」などを検討する“ライフステージ評価制度”に初めて取り組んだことは大きな意義を感じています。ワークセンター、グループホーム、相談支援も順調に事業実施ができています。しかし、その中でも7月に障がい者虐待を発生させてしまったことは痛恨の極みです。二度と虐待を発生させないという強い思いで、職員一丸となって再発防止に取り組んでいるところです。

介護・福祉分野でも大きな問題となっている人材の問題は、サニーサイドでも一番の課題でした。対策として、7月に正職員基本給の全面改訂（前年比 平均17.6%プラス）や人材育成研修の実施、職員間のコミュニケーション活性化等の取り組みも行いましたが、離職等の人材に関する課題には最重要課題として、引き続き取り組んでいく必要性を感じています。。

1，収支概況

科目	R4	R5	R6
障がい福祉サービス等事業収益	374,946	365,895	407,060
人件費	234,930	228,967	237,651
人件費率	62.7%	62.6%	58.4%
事業費	46,693	44,139	49,609
事務費	39,396	38,184	40,987
減価償却費	46,012	44,514	39,853
サービス活動増減差額	14,198	15,995	42,606
サービス活動増減差額率	3.8%	4.4%	10.5%
当期活動増減差額	19,703	22,073	48,886
当期活動増減差額率	5.3%	6.0%	12.0%

（単位：千円）



事業目標の評価

今年度は、全事業で35の目標について取り組んでいます。一つ一つの事項につき、達成度を以下のように示しています。
詳細については、付属明細書をご確認ください。

達成度　＜高★★★　⇔　☆☆☆低＞

法人
事業目標
「働きがいのある職場作りによる法人価値の向上」

a.働きやすい職場作り
★★★職員処遇の向上に向けた取り組みの実施
★★★多様な人材の育成に向けて
★☆☆マネジメント力の強化
★★☆職員間コミュニケーションの活性化

b.働きやすい職場作り
★★★適正な作業と予算の見える化
★★☆ICT・DXによる効率化

b.社会課題に対する取り組み
★☆☆SDGsの推進
★★★作品・活動の価値を高める
★★☆多業種連携の模索と発展

障がい者支援施設サニーサイド
事業目標
「利用者ニーズに寄り添った支援の実践」

a.社会生活支援の充実
★★☆暮らしの選択
★★☆外出等の活動の充実
★★★連携の強化

b.重度・高齢化への対応
★★★今後の生活のあり方を考える
★☆☆外部ボランティアの導入
★★★介護スキルの向上

c.サービスの質の向上
★★☆ホスピタリティの育成
★★★新たな資格の創設
★★★支援情報の一元化
★★☆魅力あるサービスづくり（通所）

相談支援事業所サニーサイド
事業目標
「サービスの継続性向上への取り組み」

a.相談支援体制の整備
★★★業務標準化への取り組み
★★☆地域ニーズへの対応

b.人材の育成
★☆☆相談支援専門員の育成に向けて

サニーサイドワークセンター
事業目標
「福祉の生産性の向上」

a.工賃向上に向けた取り組み
★★★目標工賃
★★★作業環境全般の見直し
★★☆アート事業の強化

b.モチベーションアップへの取り組み
★★☆働く場の見学外出
★★☆アートに触れる機会を
★☆☆画材の見直し
★★☆絵画教室の開催

共同生活介護サニーサイド
事業目標
「自立に向けた生活のあり方の検討」

a.自立に向けた生活のサポート
★☆☆社会生活支援の充実
★★☆つながりの強化
★★☆地域との交流

b.健康維持・増進
★★☆継続的な運動の習慣化
★★☆地域イベントへの参加
★★☆地域生活を楽しむ活動

２，法人本部

人材の確保・アール・ブリュット事業の価値向上

１．事業実施の概要

法人本部では、事業計画や決算報告、予算案の審議について理事会、評議員会、監事監査を実施しています。

アール・ブリュット事業では、ギャラリーミモザでの定期展の開催（２回）、公募展への出展を図り、作品2点が入選し、大阪・関西万博への展示も予定されています。

人材確保においては、定期説明会や求人情報の発信によって、新規５名の採用に至りましたが、離職１２名出ており、定着が課題となっています。次年度は、採用の強化に加え、職員定着のための面談機会の増加に取り組みます。

2. 理事会・評議員会の開催状況

	主な議案	場所	開催日
監事監査	2023年度事業報告・決算報告	メルパルク熊本	5/22
第1回 理事会	2024年度決算 他6議案	メルパルク熊本	6/4
第1回 評議員会	2024年度決算 他3議案	メルパルク熊本	6/25
第2回 理事会	空調機改修他工事 他３議案	メルパルク熊本	2/12
第３回 理事会	2025年度事業計画他 ６議案	メルパルク熊本	3/24

3. トピックス

①採用活動について

- 中途採用：リビング、すぱいす求人掲載（９回/年）
- 新卒採用：各種説明会、施設見学（６回/年）

②アール・ブリュット事業の推進

＜公募展出展：BiG-i×Bunkamura アートプロジェクト＞

入選2作品（２名）　応募点数1419点

（８/３０～９/９　Bunkamura Gallery8　東京都/

2025大阪・関西万博にて展示/大阪府）

＜企画展の実施：サニーサイドの画家たち展＞

- Vol.3（４/２７～５/６　ギャラリーミモザ）
- Vol.４（１１/１６～１１/２９　ギャラリーミモザ）

＜取材＞

- 熊本日日新聞（内容：サニーサイドの画家たち展）
  掲載日：２０２４年4月２９日
- きくち広報（内容：アール・ブリュット活動）
  取材日：２０２４年１１月７日

③地域公益事業

- 生計困難者レスキュー事業：失業中の男性にライフライン復旧の支援実施　※水道料金の支払い
  （今年度１件実施）
- 一人住まい高齢者訪問事業：年11回の訪問でのべ105名の方に配食サービスを実施

虐待事案の報告及び対応と結果/苦情相談の概要と対応について

4-1．虐待事案について

障がい者支援施設サニーサイドにて、１件の虐待事案が発生しています。

①対象者（被虐待者）：利用者A　（女性）
②職　員（虐待者）　：支援員B　（男性）
③発生日時：7月3日（水）14：54
④内　　容：身体的虐待（椅子の手すりを持ち上げ転倒させる行為等が確認されたが外傷等はなし。）

4-2．対応と再発防止について

1．対応の概況

7月　4日　熊本市虐待防止センターへ通報
熊本県、菊池市、サニーサイド家族会、顧問弁護士
顧問社会保険労務士等へ報告
7月　4日　全職員への聞き取り調査を実施
7月１０日　熊本市障がい者虐待防止センターの調査実施
9月２０日　身体的虐待に該当する不適切な対応確認通知を受理。
※処分・・・虐待者は諭旨解雇、管理者は減給処分を実施

2．再発防止について

全職員を対象としたアンガーマネジメント研修の実施や虐待防止マニュアルQ＆Aの更新及び研修の実施、朝礼等での虐待防止への意識向上の標語唱和、管理職によるコミュニケーションに取り組んでいます。

5-1．苦情相談の概要について

苦情に関する定期的な聞き取りの場として、毎月苦情相談会を開催しています。

【主な相談内容】

・外出支援先の要望や購入や作業内容や作業環境、食事や間食内容の希望などが挙げられ、すべて解決済みとなっています。また、ご家族や関係者からは苦情に該当する事案はありませんでした。

5-2．受付状況について

①利用者苦情相談会概要

相談内容/事業所	対人関係・他利用者への不満	要望（食事・外出支援・設備）	その他（質問・報告）	前年比
障がい者支援施設サニーサイド	3	12	4	70.3%
サニーサイドワークセンター	1	0	6	58.3%
共同生活援助事業所サニーサイド	0	13	5	78.2%
合計	4	25	15	70.9%

②ご家族等からの苦情　該当なし

2024年度 サニーサイド行事一覧

2024年度に行った主な17の行事。

開催日	イベント名	内容	主な参加者
4/27	家族総会	家族会による活動報告	利用者家族
4/27 ～ 5/6	サニーサイドの画家たち展vol.3	絵画展示企画 個展	法人関係者、地域住民、新規来場者
8/17	グループホーム見学会	利用者確保に向けた事業説明・見学	特別支援学校の生徒及、ご家族
8/30	BiG-i×Bunkamuraアートプロジェクト	2作品入選・展示	-
9/18	事業所見学	アール・ブリュット事業の取組について施設見学受入	障害者支援施設天水生命学園 職員
10/13	親善スポーツ大会（ペタンク参加）	熊本県知的障がい者施設協会主催のイベント	利用者
10/16	指導監査	菊池市による法人運営及び会計に関する監査	菊池市福祉課職員
11/16 ～ 11/29	サニーサイドの画家たち展vol.4	絵画展示企画 （秋まつり同時開催）	法人関係者、地域住民、新規来場者
11/16	サニーサイド秋まつり	ステージイベント、マルシェ、展示企画	法人関係者、地域住民、新規来場者

開催日	イベント名	内容	主な参加者
12/11 ～ 12/22	生の芸術 ArtBrut展覧会vol.10	アール・ブリュットパートナーズ熊本主催絵画 25作品の展示	-
12/25	クリスマス会＆サニーサイド家族会バーガーセレクト	クリスマスイベントの実施、セレクトバーガー提供	利用者、サニーサイド家族会
2/20	サニーサイド苦情解決第三者委員会	2024年度の事業概要及び苦情受付・解決状況の説明他	苦情解決第三者委員
2/20	虐待防止及び身体拘束適正化員会	虐待防止の取組・虐待事案の報告及び対応	サニーサイド家族会、苦情解決第三者委員
3/1	サニーサイド家族説明会	支援状況の報告及び個別支援計画の説明	利用者家族
3/18	サニーサイド家族会寿司御膳 食事会	職人による握り寿司御膳の提供	利用者、サニーサイド家族会

上記以外にも、外出支援や施設内部イベントとして季節に合わせた行事を実施しています。

３，障がい者支援施設サニーサイド

重度化・高齢化による今後の生活のあり方を検討する

1．事業実施の概要

「重度・高齢化への対応」においては、新たにライフステージ評価制度を導入しました。これは、支援の必要性や身体的な介護の状況等を踏まえ、よりその人に合ったサービス利用の検討を行うものです。

また、介護技術向上のため全４回の研修（九州中央リハビリテーション学院専任教員岸本稔氏監修）を実施しました。

この研修に基づき、移乗及び移動に関する動画を5本作成し、サニーサイドの支援マニュアル（動画版）として、職員の共通認識のもと支援の標準化と職員教育の基盤づくりに繋げています。

次年度は、熊本県北部発達障がい者支援センター わっふるによる重度・高齢化、行動障害等の障がい特性に対応するための研修（全6回）と、近年特に重要となっている「意思決定支援」の強化を図ります。

2. 事業所情報

サービス内容：施設入所　41名（男性22名 女性19名）
：生活介護　48名（男性24名 女性24名）
：短期入所　2名（定員）
平均年齢　：施設入所　50.4歳　平均障がい支援区分：5.8
：生活介護　46.7歳　平均障がい支援区分：5.7

3. トピックス

①-1ライフステージ評価の実施

- 介護認定調査の項目を基に、職員（介護福祉士）を中心に評価表を作成。施設入所利用者全員を対象に実施。
- 評価は身体面、過去からの変化、日常生活動作などの全15項目（計40点）によって評価を実施。25点以上の方をライフステージ検討会の対象に設定。
- サービス提案書作成。対象利用者家族との面談を実施。

①-2利用者の状況

- 利用者A（70代男性）
  加齢による身体機能低下のため介護サービスへ移行
- 利用者B（60代女性）
  加齢による身体機能低下のため障害者支援施設（身体）へ移行
- 利用者C（60代男性）
  認知症及び要介護度状態のため障害者支援施設（身体）へ移行

②入院・通院等

入院者　のべ6名　（前年度比　85.7%）
入院日数　計364日　（前年度比　95.7%）
通院　2,165名　（前年度比　96.1%）
感染症（インフルエンザ集団感染）期間 2025年1月1日～19日
罹患者　計３９名（利用者３４名、職員５名）

4，サニーサイドワークセンター

生産性の向上と絵画制作の充実

1. 事業実施の概要

販売促進や商品開発、レンタルアートの増加及び委託作業の受注増に伴い2024年度の就労継続支援事業収入は3,865,000円（前年比122.2%）となっています。

3年前から障害児入所施設や支援学校へのアプローチが身を結び3名の新規利用が開始しております。若い利用者が増えたことで委託作業は前年比124.3%の売り上げとなっており、作業量全体が上昇しています。

また、作業の生産性向上と見える化に取り組み、箱折作業に関しては作業量（1時間当たり）2.6倍となった利用者も現れるなど効果が表れています。

次年度は、絵画制作、生産性の向上に引き続き取り組むとともに、新規利用者（18歳）の増加に合わせ、社会生活支援も取り組んでいきます。

2. 事業所情報

サービス内容：就労継続支援事業B型 17名（男性11名 女性6名）

平均年齢　　：37.3歳

平均障がい支援区分：4.2

主な作業内容

①委託作業：菓子箱折等　福田屋、ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｹﾐｶﾙ、不二ｺﾝｸﾘｰﾄ

②ハーブ事業　：ハーブ製品の製造販売

③レンタルアート事業：絵画作品のレンタル

3. トピックス

①工賃の報告

2024年度平均工賃　15,520円/月

［2023年度　サニーサイド平均工賃　16,794円
　　熊本県平均工賃　21,108円］

②部門別売上一覧表

レンタルアート：新規５件　計40点（前年度37点）

部　門	2024年度売上	2023年度売上	増減	前年比
委託作業部門	2,181	1,754	427	124.3%
ハーブ部門	345	373	△28	92.4%
絵画部門	1,148	936	212	122.6%
その他部門	191	97	94	196.9%
合計	3,865	3,162	703	122.2%

（単位：千円）

5，共同生活援助事業所サニーサイド

地域交流の実施

1. 事業実施の概要

特別支援学校や児童施設関係との連携強化、説明会の実施により新規利用者が３名増となっています。

新規利用者の内訳は18歳の方が３名となっており、全体としても10代～20代の方が4名利用されています。健康維持に関しても日頃のウォーキングに加えて、ゲーム感覚で身体を動かす機会を設け、若い方にも楽しんで参加できるように取り組みました。

次年度も、社会資源の活用とともにGH事業の要である地域交流を実施する予定です。

2. 事業所情報

サービス内容：共同生活援助（介護サービス包括型）

全11名　男性６名 女性５名

のばら　男性6名 女性0名

さくら　男性0名 女性5名

かえで　男性0名 女性0名

平均年齢：42.7歳

平均障がい支援区分：4.5

3. トピックス

①健康維持を兼ねた社会資源の利用

	実施した項目	実施内容
1	地域生活を楽しむ活動	・ラウンドワンスタジアム（熊本店）の利用（8月） ・親善スポーツ大会（ペタンク）に参加（10月） ・七城コスモスウォーク（中止） ・ボーリング大会の実施（3月）

②自立に向けた生活のサポート

	実施した項目	実施内容
1	社会生活支援の実施	・４つのエリアの外出マップの作成 （菊池市、合志市、熊本市、山鹿市） ・意思決定支援の充実のため利用者自治会にて外出マップを活用した外出先の決定、および外出支援の提供
2	つながりの強化	・特別支援学校等のご家族に向けた事業説明及びグループホーム見学会の実施（8月） 2日間で計8組20名の参加
3	地域との交流	・泗水西小学校校区の地域の方とグラウンドゴルフ大会の実施（6月） ※雨天の為、大会は中止。

6，相談支援事業所サニーサイド

多様なニーズに係る把握と相談支援

1. 事業実施の概要

◆年間の相談支援実績

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特定	相談（延べ）	39	37	20	15	19	32	19	21	24	16	27	34	303	109.7%
	計画	7	1	3	4	1	6	2	6	4	4	1	12	51	91.0%
	モニタリング	8	13	13	2	5	17	10	12	11	8	5	17	121	126.0%
障害児	相談（延べ）	14	23	17	13	10	10	12	11	17	6	3	6	142	71.0%
	計画	1	1	5	3	1	1	2	3	4	0	0	3	24	104.3%
	モニタリング	3	8	5	3	1	4	0	0	6	3	2	3	38	88.3%

2. 事業所情報

サービス内容：特定相談支援　　90名（前年比102.3%）

　　：障害児相談支援　　22名（前年比　81.5%）

※18歳到達に伴うサービス変更により減少

事業所人員　：管理者１名、相談支援専門員１名

3. トピックス

①相談支援体制の整備

	実施した項目	実施内容
1	業務標準化への取り組み	相談支援の業務内容、支援の流れ等のマニュアルの作成を行い、支援する上で必要となる障がい福祉サービス・障害児支援サービスの概要、年金制度、成年後見制度等の情報を資料としてまとめています。

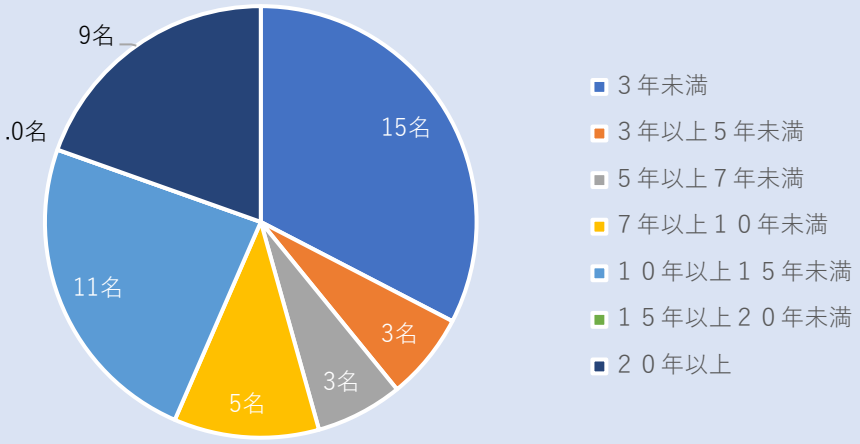
②相談方法及び内容

	訪問	来所相談	同行	電話相談	担当者会議	関係機関
特定	138	18	14	38	46	49
障害児	76	4	2	15	24	21

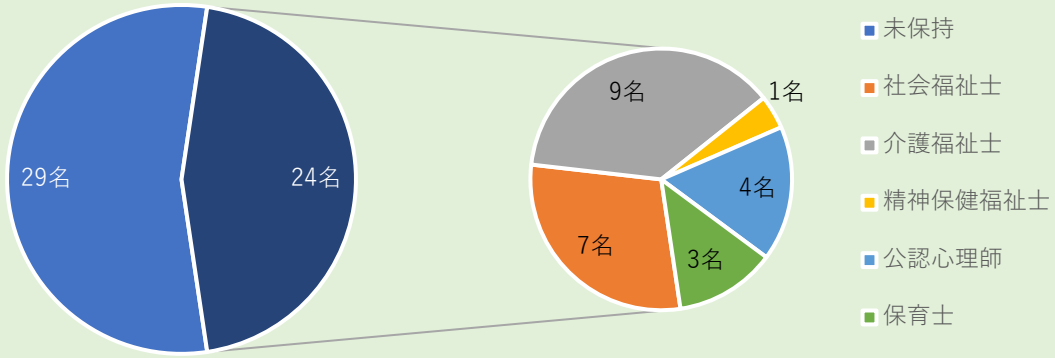
	福祉サービスの利用等	家計・経済に関する支援	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	就労	その他
特定	259	8	11	1	0	6	9	9
障害児	130	0	2	0	2	7	0	1

Ⅲ，データでみるサニーサイド

1，職員数　：46名（男性17名　女性29名）
2，雇用形態：正職員33名　契約職員13名
3，年齢構成：平均年齢45.6歳
　　20歳代　　5名（10.9%）
　　30歳代　　15名（32.6%）
　　40歳代　　12名（26.1%）
　　50歳代以上　14名（30.4%）
4，勤続年数　平均勤続年数　9年11か月



5，有資格者の状況　24名・52.1%（重複含む）



6，研修状況　全45回実施（のべ279名参加）

区分		主な内容	回数	参加
内部	特定	理念研修、介護実技研修 等	7回	116名
	定期	虐待防止及び権利擁護研修、感染症予防研修 等	5回	81名
生涯学習		アンガーマネジメント研修、ホスピタリティ研修、心理的安全性研修、IC（ChatGPT）活用研修	4回	45名
外部		中堅職員研修 等	29回	37名

7，有給休暇取得率

年度	サニーサイド	全国平均
2024年度	90.0%	—
2023年度	88.1%	65.3%
2022年度	105.1%	62.1%

※1　付与日より１年未満の者は１年間の取得見込みとして換算

※2　当年度取得日数（見込み）／当年度付与日数で算出

8，離職率

年度	離職者数	サニーサイド	全国平均
2024年度	12名	21.6%	—
2023年度	6名	7.2%	15.4%
2022年度	6名	12.2%	15.0%

※1　全国平均値は厚生労働省雇用動向調査より参照

9，残業時間

年度	サニーサイド	全国平均
2024年度	1.5時間/月	—
2023年度	1.0時間/月	10.0時間/月
2022年度	1.6時間/月	10.1時間/月

※1　全国平均値は厚生労働省雇用動向調査より参照

１０、障がい支援区分と利用率

サービス名	障害支援区分							当年度利用率	前年度利用率
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし		
施設入所支援	37	5	0	0	0	0	0	100.1%	99.8%
生活介護	37	11	0	0	0	0	0	109.3%	106.0%
短期入所	-	1	-	-	-	-	-	-	-
日中一時	-	-	-	-	-	-	-	-	-
就労継続支援Ｂ型	3	5	4	5	0	0	0	73.1%	61.5%
共同生活援助	3	3	3	2	0	0	0	55.6%	48.8%
相談支援（特定）	-	-	-	-	-	-		102.0%	98.0%
相談支援（児）	-	-	-	-	-	-		81%	104.0%

（2025年4月1日現）

１１，施設利用に係る実習及び体験利用者数

12名　のべ72日間

（菊池支援学校、大津支援学校、個人体験利用他）

１２，養成校実習受入れ数

①ソーシャルワーク実習　2名　のべ49日間

（熊本学園大学、九州看護福祉大学　社会福祉士養成）

②発達支援臨地実習Ⅱ　　2名　のべ10日間

（九州看護福祉大学　歯科衛生士養成）

１３，事業報告の付属明細書　別紙１